

利用者の可能性



介護環境アドバイザー
山下 総司

在宅でも施設の中でも利用者は逞しく生きていくという事実があります。在宅ではご本人の努力や周囲の支援、家族や親族の協力があって維持される事が多いです。一方、施設では通所であれ入所であれ施設の方針や考え方やそれを実行するスタッフの知識と技術、実践が利用中の環境を左右することとなります。

2000年から始まった介護保険事業も今年で22年が経ちますが、現場スタッフの提供するサービスの質という部分や、スタッフそのものが22年分の成長があるのかどうか？となるとなかなか厳しい現状であると思います。

これらのサービスですが、良くなったという報告がほぼ無いわけです。あればその方法を行っているわけですから不思議ですね。効果が無いと分かっている事を他にすることがない、人が足りないからできない、考えないとなるわけです。

こういった現場でいつもスタッフさんにお話をします。「今、自分たちがやっていることを評価と効果で説明ができませんか？」と。これができないとしたらそれは単に時間つぶしであり、考えないスタッフの露呈した姿なのです。人は何事も考えて実践をしないと成長しない生き物です。まして介護保険サービスとして支払いをされている方へ提供するわけですから、考えてより良いものを提供する義務はあります。



私の仕事柄、全国様々な施設の現場を見て、経営者からパートさんまでお話をしますが、2000年当初と何ら提供するサービスが変わっていない、業務も改善もされないままずっと変わらず行われていて、人不足から当時の流れで作業ができないと言っていたりと燦燦たるものです。中には改善に改善を重ねて、誰が見ても質の高いサービスが提供されていると分かるような施設もあるのですが、ほんの少ししか見たことがありません。

ではなぜ同じように介護保険制度に則りサービスを提供してきたのに、これほどの差があるのか？

状態が改善されないとしても状態をせめて維持すること、日常生活に少しでも支障をきたさないようなサービスを提供することは必須だとなります。

そしてサービスを提供するための研修と学びであり、新しい情報も含めたものを事業者とスタッフは知りえるべきであり、実践から効果を確認してよりよいサービスを提供し続けることなのです。そこまで細部にわたって行つたとしても、現実の改善がされるケースは少ないのですから、やってなければほぼ改善されず悪化の一途を辿ることになります。

施設で働く皆さんは、利用者の在宅の現状を見たことがありますか？見に行くことができないという方は知ろうとしないことがありますか？目の前の利用者に興味を持つという初歩的なかかわりの部分から

ついてしまったのでしょうか？これにはいくつかの原因が考えられます。

- 法定研修と言われる研修以外に学びの場がほとんどない。
- 情報収集をすることがなく、日々の業務が何事もなく終わればよい。
- 新しい事をするスタッフの色々とそこからそのままやってきた。
- 研修などへ資本をかけてられない。特に困らないから。
- 給与が低いのにこれ以上余計なことはしたくない。
- パソコンなど機器に慣れていないから使いたくない。だからやらない。
- やり方を変えない方がお互いに楽だし、困惑しないから。



など、アンケートを取って見たら意見としては様々です。

- 学びたくない(疲れる、めんどくさい)
- 自分の時間をそんな事に使いたくない
- 今のままでいい(給与も変わらないのだから)

こちらの考え方、見方で利用者さんの生活環境は大きく変わります。スタッフが無理だと思っても変化する利用者もおられます。ごくわずかですが、そんな利用者もいるのです。だからこそ現場で働くスタッフは、しっかりと目の前の方の課題が何かをまず知ること、そして課題の改善のために何をしたいのかが考えられること。考えがまとまれば皆で話し合いをして実践するための準備をすることが重要です。

そして、皆で同じ形の形を提供することが利用者にとってプラスであり、スタッフも経験値として人材の質が向上し、学びを更に深めて、またそれを共有して実践すれば施設スタッフ全体の質が上がるの

です。そういう現場とスタッフをみた就職希望者がこの仕事に定着するのだと思います。



ぜひ皆さんの施設を見直してみてください。利用者に興味をもってください。働く仲間を気遣い、辛い、時には議論して向き合ってください。介護、福祉の業界もまだまだ捨てたものではないと思います。

新潟県内で私がサポートに入っている施設は、下記の4施設です。施設での取り組みをインスタグラムやホームページで情報公開していますので是非アクセスして見てください。

ほっとしぱたケアセンター (新発田市)
 介護老人保健施設 第二にいがた園 (新潟市江南区)
 デイサービス優友 (新潟市西蒲区)
 弥彦ケアセンター あおぞら (弥彦村)

ブログ現場放浪記 希望の伝達人 介護環境アドバイザー 山下 総司
 【Komachi介護ご用聞きネット 介護専門家ブログ】
<http://www.kaigogoyoukiki.net/niigata/blog/008/>